

大阪大学工業会海外交流助成金 「渡航報告」

〔学生の部〕

海外渡航報告書

MATERIALS SCIENCE & TECHNOLOGY 2016

大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
博士後期課程 周 崎 楓

大阪大学工業会の助成を頂き、私は2016年10月にアメリカのソルトレイクシティで開催された、MATERIALS SCIENCE & TECHNOLOGY 2016国際学会に参加しました。私は、数値シミュレーションによるレーザ溶接時の欠陥予測手法の確立を目的としており、その成果について発表しました。レーザ溶接に関する数値シミュレーションの研究は、実験をメインとして研究専門家には興味を持たれないのではないかと心配していましたが、Author's Coffeeでオハイオ州立大学のBoian教授などの専門家とコミュニケーションしたところで、皆は私たちの研究内容に大変興味を持って頂けました。

発表時間は短いものでしたが、国を超えて興味を持ってもらえる研究内容であるということに、自信を持つことが出来ました。また、質問を通して多くのことを学ぶことができ、良い経験になりました。今回の学会の運営に関しては、インターネットの利用が進んでいる印象が受けた、今回大会専用のアプリをアプリストアからダウンロードすることは可能です、セッションの確認、携帯カレンダーへの登録、会場地図の表示などの機能はすべて適用されています、参加者にとってとても便利な工夫がなされていました。

今回学会の開催地では、ユタ州ソルトレイクシティでした。ロッキー山脈の西、ソルトレイク・バレーに位置するこの街は海拔1320mの高原地なので、夏でも過し易くて快適ですが、その分の代わりに典型的な高原天候のため、紫外線が強く且つかなり乾燥しているようです。ソルトレイクシティの西側にあるグレート・ソルトレイク（大塩湖）が街の名前の由来だそうです。ユタ州と言えば末日聖徒イエス・キリスト教、いわゆるモルモン教徒が州人口の70%を占める宗教都市として有名です。州都であるソルトレイクシティは、その総本山であり市内中心部には非常に立派な大聖堂があります。市内に路面電車が走っていますが、如何やらダウンタウンの中心地にアメリカ大陸横断鉄道の駅もあるようです。同行している鉄道大マニアであり佐野先生は大喜び、暮夜に森先生を誘って写真取りに行きましたが、結局、危なかったそうです。昼間のソルトレイクシティは静かでいい街でした。のんびり休養するには丁度いい感じで人が親切で安全な街という印象でした。

今回の大会を通して、実践的に国際的な研究者ネットワークの構築を体験できました。最後に、このような発表の機会を与え、支えてくださった方々にお礼を申し上げます。

